

講義科目 : 社会科学演習	単位数 : 4
担当 : 田添 篤史	学習形態 : 必修科目
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

テーマ：経済学から社会を考える

概要：現代の社会には様々な課題があります。それらを考えるために、現代社会について様々な面から取り扱ったテキストを輪読します。

そのうえでゼミ生が自ら選んだテーマに基づいて調査、報告を行い、卒業論文を完成させることを目標とします。

授業計画

第1回	演習の目標, 評価方法の説明	第16回	通商政策
第2回	参考文献の探し方, 引用の方法	第17回	開発援助政策
第3回	論文の構成方法	第18回	卒業論文のテーマ発表
第4回	経済の仕組みと経済政策	第19回	テーマを決定した理由の発表
第5回	日本の経済政策の歴史	第20回	テーマ決定の妥当性の検討
第6回	国土開発政策	第21回	先行研究調査のまとめ
第7回	中小企業政策	第22回	先行研究に対する批判的検討
第8回	農業・食料政策	第23回	先行研究とテーマとの関連性
第9回	労働政策	第24回	論文の構成の発表
第10回	医療政策	第25回	論文構成の妥当性の検討
第11回	住宅政策	第26回	自己の主張の論理構造について
第12回	コミュニティ政策	第27回	論理展開の妥当性を検討する
第13回	財政政策	第28回	結論の発表
第14回	金融政策	第29回	結論にどのような意味があるのか
第15回	科学技術政策	第30回	コメントへの返答

教材・テキスト・参考文献等

1冊目のテキストについては受講者と相談のうえで初回のゼミまでに決定します。

成績評価方法

ゼミにおける発表、ディスカッションへの参加態度（以上2つで70%）、卒業論文の内容（30%）により総合的に判断します。